明治十年四月

調査局

田口乾三

内務省伺　在琉球藩出張所在勤之者
帰省途中墓参トシテ帰郷中
自儘旅費支給方之儀審按スルニ如此ノ儀
詮多ク墓参等私事ノ儀ニハ无之而京ヨリ赴任中
最擇伺ニ依テ出張スルニ付既ニ墓参等ノ許可ヲ
得テ大抵ヲ出張スルヤ公務ヲ離レ全ク私ノ
旅行タルハ勿論ニテ事務ノ地ヲ往リテ詮義ヲ
辭掛旅費ヲ出発スル者ト可見ル可ナシ因テ
二百六十六　以テ自儘ハ定則モ十九條ヲ援リ出願ア

給シ旅費ハ一切支給セサル儀ニ而琉球より
帰京ノ旅行并ニ赴任ニ係ル分ヲ以テ赴任旅費ヲ給
スヘキ筋ニ有之右旅費ハ支給及着手前ノ経
費ニ而費用ヲ差引残額相成候儀ニ付一切
ノ旅費ハ箱ニ纏置モ相渡シヲ以テ本省より
東京迄ハ無論里程ニ有之ニ付赴任旅費丈
旅行ノ残額ヲ給シ候儀当然之筋ニ付
本人ニ於テ旅費之様用スヘキ筋ニ有之候右之通
御指令相成候様致度相伺候也

御指令案

伺之趣本人ニ於テ辨償ニ難相成候事

参照

月俸規則

第十五條

一 許可ヲ得テ帰郷スル者ハ給暇中月俸半額ヲ給スヘシ

但シ計算方法譬ヘハ十五日前奉職地ヲ発足スル者ハ下半月分ヨリ減給シ十六日後発足スル者ハ翌月ヨリ減給スヘシ

旅費定則

第十九章

一 華族及ヒ有位ノ士民私用ニテ旅行

明治十一年四月　小池久以

伺書

別紙之通開拓使十年度定額常
費増額之儀客秋既ニ年七月十九日
開拓使ヨリ函館在勤租税課ヘ及照
会有之候ニ付関税租税課ヘ納付方
同使ヨリ収税金租税課ヘ納付ノ旨
該開拓使収税之義ニ付[illegible]
右之[illegible]年中[illegible]
[illegible]年[illegible]中[illegible]
[illegible]年[illegible]月[illegible]ノ[illegible]ハ租税[illegible]

小節ハ旅費ハ四等ヲ以テ給與位
ハ士族生徒モ僧侶等同断ノ節ハ旅費
ハ五等ヲ以テ支給可之